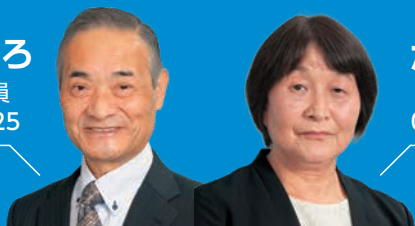


日本共産党 伊丹市議会議員団 議会報告 2023年秋季号

発行/日本共産党伊丹市議会議員団 伊丹市千僧1丁目1番地 議員団控室
TEL 784-8114 (直通) メール hyo.itamijcp@nifty.com

伊丹市議団 検索

服部よしひろ
伊丹市議会議員
090-9044-0925



かしばふみ
伊丹市議会議員
090-5464-9733

2022年度
決算

市民の安全と暮らしを守って奮闘

日本共産党伊丹市議団は、9月議会において、**2022年度伊丹市一般会計歳入歳出決算の認定に同意しませんでした。2022年度決算は、わが党議員団以外の賛成で認定されました。**

昨年度は、2月に始まったロシアのウクライナ侵略による物価高騰や自公政権による大軍拡優先の政治により、苦しさが増した市民の暮らしを守るための施策が特に重要でした。

市民の暮らしが苦しくなる中で、市の財政調整基金は、市税の増収やモーターボートレース収益の大幅増による10億円繰り入れなどで72.5億円(23%増)となりました。

基金の膨らんだ部分は本来なら市民の暮らし・福祉・教育など市民サービス充実に使うべきです。

22年度の市政で評価すべき4つの点

コロナ禍で疲弊した市民生活支援に自主財源を約3億円上積みして支援を充実したこと。

小中学校に「不登校対策指導員」を独自に配置し、子どもと教職員への支援をしたこと。

子どもの医療費を、中学卒業まで無料化を実現したこと。

4月時点での保育所待機児のゼロを5年間続けていること。



2024年度に向けた5つの要望

市職員の長時間労働の是正を図ることをもとめる。

労基署からは是正命令を受けるなど、市職員の長時間労働は深刻です。DXですべて解決するかのように「働き方改革」推進だけでは解消できません。適正な職員数が必要です。

教員・保育士の過重労働をなくすために、独自加配を行うこと。

子どもに目が行き届き発達と安全を保障できる適切な人員配置を求めました。低すぎる国の配置基準の是正も必要です。

生活保護を「生活保障」の観点から充実させることをもとめる。

物価高騰が低所得者や年金生活者、失業者の生活を脅かしています。生活に困ったときに安心して受給できる生活保護窓口になるよう求めました。

！ 個人情報情報を危険にさらす

「マイナンバーカード交付円滑化事業」を実施。

国言いに、コンビニなどの窓口で住民票などを交付できる事業を推進。

！ 人権を脅かす18歳と22歳の若者の名簿を「電子データ」で自衛隊に提供。

個人情報保護法で行政の責任で保護しなければならない個人4情報を本人の確認もなく勝手に「電子データ」にまとめて毎年提供。

！ 教員と児童生徒の負担を増やす学力テストを毎年実施。

学力テストを毎年全生徒に実施。平均点を引き上げる対策を追求させて教師と子どもに大きな負担に。

！ 老朽化し、居住に堪えない市営住宅を建て替えない。

耐震性を満たさず、築50年以上になり、外壁や水回りが老朽化。入居者の高齢化で階段が登れず、4階・5階の空き室が増加。長年の住民の運動で玉田団地6～9号棟にエレベータを設置。老朽化した市営住宅を200戸廃止。
※市民の要求を受け日本共産党伊丹市議団は市営住宅の環境改善を訴えました(詳細は裏面)

！ 大規模マンション開発や大規模物流倉庫建設を進め、地域の住環境を脅かしている。

地域住民に大きな負担をかけることに。市は事業者の開発申請情報を市民に公表せず、事前審査を行い、承認後事業者が市民に説明会を行って初めて計画が判明するため、地域住民が事業計画の見直しを求める機会を市が奪っている形になっています。

！ 同和問題の真の解決に逆行する教育、啓発を続けている。

実体的な差別がほとんどない中で、差別意識を殊さら強調することは、同和問題の真の解決に逆行するものです。同和問題に限らず、様々な人権課題が存在しています。様々な人権問題に対しては、憲法に基づき、多様な個人の尊厳が守られ、人権・民主主義が根付く伊丹市になるよう求めました。

天神川堤防決壊事故を教訓にして、防災・災害予防への取り組み強化をもとめる。

二度と同様の事故が起きないように、体制の強化を求めました。

統合新病院の建設と同時進行で、近畿中央病院跡地への代替病院の誘致を実現すること。

伊丹南部は人口が増加傾向です。統合新病院の運用開始とセットで近畿中央病院跡地に代替病院を完成させ、医療空白を生まない対応を求めました。

子どもの医療費はあと2億円で18歳まで完全無料に。義務教育の小中学校の給食費の無償化は8億円で実現可能。

詳しくは、党市議団ホームページをご覧ください。



新庁舎前「市民広場」に1基105万円(6基630万円)の「クスノキベンチ」

大阪・関西万博「協賛事業」に設置・移設費用も。

2024年4月にオープンを目指す新庁舎中庭「市民広場」に、旧庁舎周辺の街路樹のクスノキを利用して、ベンチを6台作製し、設置します。しかし、すぐには設置せず、2025年4月から開催予定の大阪・関西万博の会場に設置し「本市を

PR」。万博終了後に、ようやく市民広場に移設します。

その間は、新庁舎屋上のベンチを下ろして仮設置。万博後に補修して入れ替え設置するという事業。与党会派からもやり方を疑問視する質問が出ました。



旧庁舎周辺のクスノキの街路樹の切り株



市民広場

画像引用元:令和5年度(2023年度)9月補正予算(案)の概要より引用

事業費内訳 ● 剪定街路樹積込委託料19万3000円 ● ベンチ作製委託料634万7000円

党議員団の質問で、通常、市が購入する公園ベンチは1基30~35万円程度と判明。



南小「放課後児童くらぶ」を別棟に

南小学校の児童数が2025年度にはおよそ1200名となると予測され、現在「放課後児童くらぶ」がある教室も使用するため、校庭北東角に2階建て5室の別棟を建設する計画です。

児童数が増加する要因は、阪急稲野駅前に建設が進む大規模マンション群(1期671戸、最

終775戸予定)による人口急増(約3000名増加予想)のため。

南小地域の人口急増で、学校だけでなく、保育・医療・福祉・道路・交通機関など住環境に大きな変化が予想されます。伊丹市に関連する諸施策の充実が求められます。

9月議会一般質問

伊丹市南部に医療空白をつくらないで!

近中跡地に代替病院を!

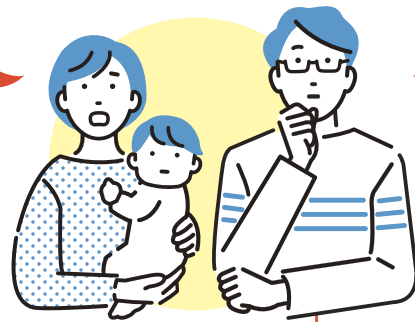
地域のニーズに見合った医療体制を

公的病院の統合再編は、自民公明政権による病床削減のための地域医療構想に基づくものです。新型コロナウイルス感染拡大で公的病院の役割がますます明らかとなりました。入院病床が必要とされる中でも急性期病床が削減されました。地域医療体制を確保するためには、地域のニーズに見合った医療体制や安定した医療スタッフの確保などが必要です。

医師不足から、医師の確保が難しくなる一方、2024年度より医師の働き方改革、宿日直許可等の環境整備も進んでいきます。命を守る現場で医療スタッフが安全安心な環境で働き続けられるように働きかけていきます。

2026年に統合新病院開院

2021年8月に伊丹市と公立学校共済組合との間で跡地利用に関して、民間医療機関への売却を実現するために協力する旨の覚書が交わされたことは、市民運動と共産党市議団の一定の成果といえます。市立伊丹病院は2026年に統合新病院開院、2027年にグランドオープンの予定です。すでに新病院の工事が始まりました。新病院オープンと同時に、近畿中央病院跡地には必ず、地域住民のニーズに応えた新しい病院の設立を求めるとともに、建て替え期間のロスを無くし、伊丹市の南部が医療空白とならないような手だてを求めました。



子どもが安心して学べる環境づくり!

不登校対策支援員の増員・充実を!

2019年に不登校対策支援員を配置

不登校出現率は伊丹市でも、小中学校ともに上昇傾向にあり、新たな長期欠席および不登校を生まないように、学校、家庭、地域の協力が不可欠です。伊丹市では2021年9月より、新型コロナウイルス感染症対応地方創成臨時交付金を活用し、不登校対策支援員を市内の小、中学校に配置しました。

2023年に支援員を廃止・縮小

小中学校ともに、不登校の減少傾向がみられ、支援員配置の効果は大きかったと評価しています。その活動は、電話対応や、家庭訪問等の不登校対応、児童、生徒の心のケア、自主学習のサポート等、支援活動は多岐にわたりました。しかし、伊丹市は2023年度より、中学校は支援員を廃止。小学校も、人数を減らしました。市の教育センター「やまびこ」に通う児童生徒は増加傾向です。一人ひとりに行き届いた教育が行える体制づくりと、教師の時間外労働の軽減等、職場環境の改善、少人数学級、教師増員を求めました。



市民の要求に基づいて市議団としてとりくみました

地震に耐えられない市営住宅は建て替えて!

市営住宅にエレベータを!



伊丹市は、今後、市営住宅の建て替えを行わないとしています。市営住宅は戸数を減らすのではなく、必要な戸数を維持し、旧耐震住宅は、順次建て替えを行い、バリアフリー化された住みよい住環境を提供することを求めます。また、高齢化が進む中、エレベータ

の無い市営住宅では、多くの方が、階段の上り下りが大変であるなどの声が聞かれることから、すべての市営住宅にエレベータを設置すること、室内の経年劣化部分の補修、1階に転居希望の方が速やかに転居できるよう求めました。

●質問の全文は「伊丹市議団」のホームページでご覧になることができます。



●中継録画は「伊丹市議会」のホームページでご覧になることができます

